

年 度	実業団(委員会、県内リーグ戦、県開催関東大会)の変遷
1986 昭和S61	
1987 S62	○第2回関東実業団リーグ戦開催(山中湖庭球倶楽部) 出場チーム 男子:東京エレクトロン 女子:山梨県庁 山梨県テニス協会実業団委員会発足 (初代委員長:小塩幸弘(甲府カシオ)~平成15年度)
1988 S63	○第27回関東実業団トーナメント戦開催(小瀬スポーツ公園) 出場チーム 男子:東京エレクトロン 女子:山梨県庁
1989 平成H元	
1990 H2	○山梨県実業団リーグ戦開始 出場チーム数 男子:23チーム、女子:10チーム
1991 H3	○第30回関東実業団トーナメント戦開催(小瀬スポーツ公園) 出場チーム 男子:山梨県庁 女子:テルモ甲府工場 ○第2回山梨県実業団リーグ戦 出場チーム数 男子:44チーム、女子:10チーム
1992 H4	○第3回山梨県実業団リーグ戦 出場チーム数 男子:53チーム、女子:10チーム
1993 H5	○第8回関東実業団リーグ戦開催(小瀬スポーツ公園) 出場チーム 男子:伊勢工業・東京エレクトロン 女子:山梨県庁・山梨中央銀行 ○第4回山梨県実業団リーグ戦 出場チーム数 男子:60チーム、女子:12チーム
1994 H6	○第5回山梨県実業団リーグ戦 出場チーム数 男子:59チーム(2部1ブロック→2ブロック)、女子:12チーム
1995 H7	○第6回山梨県実業団リーグ戦 出場チーム数 男子:60チーム、女子:12チーム
1996 H8	○第7回山梨県実業団リーグ戦 出場チーム数 男子:65チーム、女子:16チーム
1997 H9	○第36回関東実業団トーナメント戦開催(小瀬スポーツ公園) 出場チーム 男子:東京エレクトロン、山梨県庁 女子:東京エレクトロン ○第8回山梨県実業団リーグ戦 出場チーム数 男子:70チーム、女子:18チーム
1998 H10	○第9回山梨県実業団リーグ戦 出場チーム数 男子:73チーム、女子:18チーム
1999 H11	○第10回山梨県実業団リーグ戦 出場チーム数 男子:71チーム(3部2ブロック→3ブロック)、女子:17チーム
2000 H12	○第11回山梨県実業団リーグ戦 出場チーム数 男子:74チーム、女子:14チーム
2001 H13	○第16回関東実業団リーグ戦開催(小瀬スポーツ公園) 出場チーム 男子:東京エレクトロン、山梨県庁 女子:東京エレクトロン ○第12回山梨県実業団リーグ戦 出場チーム数 男子:77チーム、女子:16チーム
2002 H14	○第13回山梨県実業団リーグ戦 出場チーム数 男子:77チーム、女子:16チーム
2003 H15	○第14回山梨県実業団リーグ戦 出場チーム数 男子:76チーム、女子:16チーム
2004 H16	○第43回関東実業団トーナメント戦開催(小瀬スポーツ公園) 出場チーム 男子:山梨県庁、東京エレクトロン 女子:山梨県庁 第2代委員長:鎌田健義(山梨県庁)~現在 ○第15回山梨県実業団リーグ戦 出場チーム数 男子:68チーム、女子:12チーム
2005 H17	○第16回山梨県実業団リーグ戦 出場チーム数 男子:72チーム、女子:11チーム
2006 H18	○第17回山梨県実業団リーグ戦 出場チーム数 男子:74チーム、女子:7チーム

2007 H19	○第18回山梨県実業団リーグ戦 出場チーム数 男子：72チーム、女子：6チーム
2008 H20	○第23回関東実業団リーグ戦開催(須玉パステニスクラブ若神子) 出場チーム 男子：東京エレクトロン、山梨県庁 女子：山梨県庁 ○第19回山梨県実業団リーグ戦 出場チーム数 男子：71チーム、女子：6チーム
2009 H21	○第20回山梨県実業団リーグ戦 出場チーム数 男子：64チーム、女子：8チーム
2010 H22	○第49回関東実業団トーナメント戦開催(小瀬スポーツ公園) 出場チーム 男子：東京エレクトロン、ファナック 女子：辞退 ○第21回山梨県実業団リーグ戦 出場チーム数 男子：65チーム、女子：8チーム
2011 H23	○第22回山梨県実業団リーグ戦 出場チーム数 男子：64チーム、女子：7チーム
2012 H24	○第23回山梨県実業団リーグ戦 出場チーム数 男子：64チーム、女子：9チーム
2013 H25	○第24回山梨県実業団リーグ戦 出場チーム数 男子：61チーム、女子：7チーム
2014 H26	○第29回関東実業団リーグ戦開催(小瀬スポーツ公園) 出場チーム 男子：YSKe-com、山梨県庁 女子：辞退 ○第25回山梨県実業団リーグ戦 出場チーム数 男子：56チーム、女子：7チーム
2015 H27	○第26回山梨県実業団リーグ戦 出場チーム数 男子：56チーム、女子：6チーム
2016 H28	○第27回山梨県実業団リーグ戦 出場チーム数 男子：56チーム、女子：5チーム
2017 H29	○第56回関東実業団トーナメント戦開催(小瀬スポーツ公園) 出場チーム 男子：東京エレクトロン、山梨県庁 女子：山梨県庁 ○第28回山梨県実業団リーグ戦 出場チーム数 男子：56チーム、女子：5チーム
2018 H30	○第29回山梨県実業団リーグ戦 出場チーム数 男子：59チーム、女子：6チーム
2019 H31 令和R1 (5月1日以降)	○第34回関東実業団リーグ戦開催(小瀬スポーツ公園) 出場チーム 男子：ファナック、甲府市役所 女子：テルモ、山梨県庁 ○第30回山梨県実業団リーグ戦 出場チーム数 男子：58チーム、女子：5チーム
2020 R2	○第31回山梨県実業団リーグ戦 出場チーム数 男子：55チーム、女子：4チーム
2021 R3	○第32回山梨県実業団リーグ戦 出場チーム数 男子：53チーム、女子：3チーム R2リーグ戦において、新型コロナウイルス感染症の影響で、一部対戦不可となったため、R3リーグ戦は、男子1部リーグブロック編成が変則的(6チームから7チーム)となった

## (参 考)

### 1 実業団テニス関東大会名の変遷

#### ○関東実業団トーナメント戦

第37回平成10年から 関東実業団トーナメント戦(ビジネスパル(Bパル)関東大会)

### 2 関東大会試合方法の変遷

#### ○関東実業団トーナメント戦

第34回平成8年以前

男子：ダブルス2ポイント、シングルス3ポイント 計5ポイント(ダブルスとシングルの重複可)

女子：ダブルス1ポイント、シングルス2ポイント 計3ポイント(ダブルスとシングルの重複可)

第35回平成9年以降

男子：ダブルス2ポイント、シングルス1ポイント 計3ポイント(ダブルスとシングルの重複不可)

女子：ダブルス2ポイント、シングルス1ポイント 計3ポイント(ダブルスとシングルの重複不可)

#### ○関東実業団リーグ戦

第11回平成8年以前

男子：ダブルス2ポイント、シングルス3ポイント 計5ポイント(ダブルスとシングルの重複可)

女子：ダブルス1ポイント、シングルス2ポイント 計3ポイント(ダブルスとシングルの重複可)

第12回平成9年以降

男子：ダブルス1ポイント、シングルス2ポイント 計3ポイント(ダブルスとシングルの重複不可)

女子：ダブルス1ポイント、シングルス2ポイント 計3ポイント(ダブルスとシングルの重複不可)

### 3 現在(平成27年)の関東大会チーム編成内容

#### ○関東トーナメント戦(Bパル関東)

- (1)登録選手は男女共5名以上9名以内。(2)部長、監督、マネージャーは選手を兼務できる。
- (3)各都県テニス協会所属の会社・銀行・官庁・商店のテニスチームに限る。参加選手は、プロフェッショナル登録をしていない社員・職員である事。(但し、囑託を含む雇用契約のある者に限りません。派遣社員は不可)また、いかなる場合でも同一選手が複数のチームに登録することはできない。
- (4)各都県テニス協会の推薦するチーム。
- (5)元社員・元職員の参加を1ポイントに限り認める。

#### ○関東リーグ戦

- (1)男女共に、部長・監督・マネージャー各1名、選手4名以上9名以内。(各チームの連絡担当者は登録メンバーに限る)
- (2)男女共、選手が部長、監督、マネージャーを兼務できる。
- (3)選手は、当大会指定日現在及びそれ以降大会期間中を通じて、以下ABCのいずれかに限る。
  - A.当該実業団またはその連結決算対象の子会社と直接雇用契約のある従業員。
  - B.当該実業団が連結決算対象とされている親会社と直接雇用契約のある従業員。
  - C.JTA登録のプロフェッショナル選手及びJTA登録のない外国籍選手で、当該実業団またはその連結決算対象の子会社と所属契約を締結している選手。なお、JTA登録のない外国籍選手の出場は1対抗につき1ポイント以内とする。
- (4)女子のチームについては、次の特例を認めるものとする。

#### A 補強選手(第20回大会から採用)

チームの拠点を都県単位で定め、拠点における社会人の選手を1ポイントに限り補強することが出来る。補強選手の条件は次の①または②を満たしていること。

- ①チーム拠点(都県)の在住又は在勤の社会人であること。
- ②チーム拠点(都県)の中学校又は高等学校を卒業し、かつ関東地域内に在住又は在勤している社会人であること。

#### B 元社員・元職員の参加を1ポイントに限り認める。(第34回大会から採用)

上記AとB併せて、2ポイント可能とする。

\* 特例選手の登録は、A補強選手申請書、B元社員・元職員申請書を提出する。

(5)チームは、同一実業団であれば関東地域内に登録された選手でベストメンバーを組むことができる。

(6)申し込み後のメンバー変更・追加は、大会初日の監督者会議において、1名の変更又は登録人数枠内で1名の追加を認める。変更又は追加する選手が補強選手、元社員・元職員の場合、申請書を大会指定日までに、メール又はFAXで提出する。